事業所名	サポートルーム　ひまわり	**支援プログラム**	作成日	2026 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念		法人理念：「みんな　強く・正しく・明るい子」をスローガンに、障害のあるなしに関わらず前向きに生きられる子。 事業所理念：楽しく遊んでいたらできるようになった成長していたを理念におき子どもたちをサポートしていきます。			
支援方針		一人ひとりの発達状況や特性に応じ、その子のできていることに目を向けて「楽しい」「できた」をたくさん増やせるよう支援していきます。感覚統合あそび・運動を通し、子どもたちが楽しく活動に参加し何事にも必要な体軸の安定を築けるよう支援していきます。また、NCプログラムを取り入れ、その子の発達に応じ支援していきます。			
営業時間		8 時 30 分から 15 時 30 分まで	送迎実施の有無	○あり　　なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・一人ひとりの発達段階に合った生活スキルを身につけられるよう支援します。 ・個々の特性に配慮し、スケジュールや活動内容を視覚化します。			
	運動・感覚	・身体を動かすことが楽しいと思える環境の設定を行います。 ・粗大運動：歩く止まるなどの基本動作から、サーキット遊びやリズム遊びを多く取り入れると共に、揺れ、スピード、力の感覚の前庭覚・固有覚の調整を育むプログラムを提供します。 ・微細運動：ひっぱる・つかむ・つまむ・まわす・とおす・はめる・入れるなどを玩具や教材を使いながら手先の運動を取り入れます。			
	認知・行動	・色や形、大小や長短、数など教材や玩具を使用してのプログラムを継続的に取り組みます。 ・ソーシャルスキルあそびを通し、社会のルールや感情をコントロールする力を育みます。			
	言語 コミュニケーション	・一人ひとりの言葉の発達段階に応じた言葉がけや対話を心掛け、自らの意思を表出できる環境を設定します。 ・物と名称、行動と言葉、感情と言葉などが習得できる遊びを通し、名詞や助詞、動詞などの言語を育むよう支援していきます。			
	人間関係 社会性	・ソーシャルスキル遊びやゲームや運動の活動の中で、ルールの理解や他の人の気持ちを理解できるようプログラムを実施していきます。 ・個々の発達に応じ、ひとり遊びから見立てあそび、平行遊びから協調した遊びにつながるよう支援していきます。 ・一人ひとりが安心できる場所であり、自分を発揮できるよう環境を整えます。			
家族支援		・日々の活動内容をスマートフォン等で気軽に確認できるよう提供いたします。 ・送迎の際などには、保護者の方と療育内容やお子さまの様子を共有し、支援内容の共通理解に努めます。 ・定期面談時だけでなく、質問や不安困りごとがある時は、いつでも相談に乗りサポートいたします。	移行支援	・認定こども園とも支援内容を共有し、支援の統一化を図っていきます。　・就学先への移行に向け、学校と情報共有を行います。	
地域支援・地域連携		・認定こども園、行政（町市保健師）と連携し、担当者会議の出席や個別支援計画の情報共有を行います。	職員の質の向上	・外部研修への参加や、児童発達支援ガイドラインの内容、発達や障害に関する知識など基礎知識に関する研修を行います。 ・サービス提供前後には利用者状況を共有し、統一した支援が提供できるようにします。	
主な行事等		特になし			